



ERセンター診察室

当院では2013年4月より二次救急診療を開始し、2014年4月には急患診療部を設立しました。その後、2016年4月の組織改変により総合診療部(ER)と名称変更され、総合診療科を中心とした体制で運営されてきました。この期間、地域医療への貢献を果たすとともに、医学生や初期研修医の教育の場としても大きな役割を担ってきました。多くの研修医が救急診療を通じて臨床能力を高め、幅広い経験を積む機会を得ています。

さらに2024年4月からは、より広範な部門の協力によって二次救急体制を強化するため、救急治療センター(ERセンター)を新設しました。この変更に伴い、医師の働き方改革を見据えた新制度にも対応する形で、総合診療科を主体とした運営から、病院全体の診療科が協力して支える運営

体制へと移行しました。この新体制により、より効率的かつ質の高い救急医療の提供が可能となりました。

ERセンターでは、主に救急車搬送が必要な患者さんや、入院を必要とする二次救急の患者さんを診療対象としています。内科系疾患や外科系疾患、外傷など、多岐にわたる疾患に対応しており、必要に応じて各専門分野の診療科と連携して治療に当たっています。患者さんの病状に応じた迅速かつ的確な対応を心掛け、多様なニーズに応えるための体制を整えています。

2023年度には初診467名、再診273名の診療実績がありました。本年度は新たな体制への移行期であることから、患者数は前年とほぼ同水準ですが、次年度に向けてスタッフの増員を予定しており、さらなる対応力の向上を

目指しています。地域の救急医療ニーズに一層応えられる体制を構築していきます。

救急診療は普段あまり身近に感じられない分野かもしれませんが、万が一の際には安心してご利用いただけるよう、日々の診療に取り組んでいます。地域の皆さまの健康と安全を守るため、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



救急治療センター長
医師 鍋島 茂樹
なべし ま しげ

2025年 新年のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。

福岡大学病院は、建て替えを行っていた新本館が2024年5月7日に開院いたしました。本院は、患者中心の「あたたかい医療」を理念に、特定機能病院・災害拠点病院としてさらに充実を図って参ります。新本館は、地下1階、地上12階建て、ヘリポートを新本館の屋上に設置し、緊急用エレベーターを使って直接救命救急センターへ搬送でき、手術室や集中治療室とも直結しています。手術室は、14室から18室へ増室し、ハイブリッド手術室も1室から2室、ロボット手術室も2室から3室といたしました。手術支援ロボットは、1台増やしてダビンチを3台、さらに、日本製の「hinotori」を導入いたしました。今後は、さらに手術支援ロボットを活用すると共に、肺・角膜・腎移植などの臓器移植治療や脾臓移植などの移植医療、内科医と外科医との連携による低侵襲心血管カテーテル治療(経カテーテル的大動脈弁移植術、ステントグラフト治療、僧帽弁閉鎖不全症に対するMitraClip治療など)を推進しています。さらに、新本館は、総合周産期母子医療センターや高精度放射線治療機器等の最先端治療を整備し、がん化学療法の実施も図っていきます。



福岡大学病院本館

福岡大学の3病院は、本院が1972年福岡大学医学部開設に伴い前身である九電病院を引き継ぐ形で1973年に開設されました。その後、1985年に福岡大学筑紫病院、2018年には福岡大学西新病院が開院し、「Three Hospitals, One Team」にて地域医療に貢献をしております。私は、西新病院での病院長の経験が4年ほどあり、そこで学んだことを大学病院でも活かしていきたいと考えております。西新病院は、非常に地域と密着した病院です。本院では高度医療に偏りがちになってしまう傾向にありますが、大学病院であっても地域に密着した患者さんに寄り添う医療が必要だと思っています。地域医療における病病・病診連携を促進するため、地域の医療機関の医療者の方々とお互い

に顔が分かる信頼関係の構築を目指し、どのように地域密着型を完成していくのかも、今後、更に検討を重ねながら地域医療に取り組んでいきたいと考えております。

本年も何とぞ宜しくお願いいたします。



福岡大学病院
病院長 三浦 伸一郎
みうら しんいちろう

Open! 当院では、各種SNSを開設しています!

4 福大病院ニュース

公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCYwM03PwlaDYNvVXTXVUocA>



Facebook
<https://www.facebook.com/FukuokaUniversityHospital/>



X (旧Twitter)
<https://x.com/Fukuokaunivhosp>



instagram
<https://www.instagram.com/fukuokaunivhosp/>



福岡大学病院

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号
TEL (092) 801-1011(代) URL: <https://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/>



産科部門のご紹介

助産師の活動について

当院は総合周産期母子医療センターとして、母体合併症や胎児異常などの様々なハイリスクな妊産婦の管理を行っています。助産師は分娩期だけでなく、妊娠期から産褥期まで継続して、母子の健康を支える役割を担っています。当院では令和6年6月に福岡大学病院における院内助産を開設しました。院内助産とは緊急時の対応ができる医療機関等において、正常経過の妊産婦のケア及び助産を助産師が中心となり行うものです。助産師は母子が安全に出産できるように、母の産む力、赤ちゃんの生まれてくる力を最大限発揮できるように支援しています。

安全な分娩のためには、妊娠期からの身体作りが必要です。マタニティ外来では、助産師が保健指導を中心とした妊婦健診を行っています。一人ひとりの患者さんに合わせ、求める支援を把握し、妊婦自身が妊娠・出産に向き合い、妊娠期からの分娩に向けて心身の準備ができるように支援しています。妊娠期から継続して

関わるからこそ、妊婦と出産への目標を共有でき、母子ともに安全な分娩、産婦の望む分娩につながると考えています。

分娩期では分娩進行状況や胎児状態を観察し、正常な経過を辿ることができるように、分娩促進の援助や異常の早期発見に努めています。助産師は産婦の分娩への不安や恐怖心に1番近くで寄り添います。安心できる環境を作り、産痛緩和のためのマッサージや温電法、呼吸法などを一緒に実施しています。妊娠・出産の経験がその後の育児への向き合い方に影響を及ぼします。産婦が前向きに分娩に向き合い、産婦が望む分娩となるように患者さんのニーズに応じた個性のあるケアを実施しています。

当院ではハイリスクな妊娠・分娩管理を行っており、周産期領域の知識や助産技術の向上だけではなく、全身管理ができるフィジカルアセスメント力^{※1}が求められます。また緊急時は産科医だけでなく、新生児部門、麻酔科医との連携が不可欠です。



多職種によるブリーフィング

安全な分娩となるように日頃からブリーフィング^{※2}や緊急時のシミュレーションを多職種で実施し、日々の業務に取り組んでいます。

女性にとって妊娠・出産・育児は大きなライフイベントです。女性だけでなく、取り巻く家族を含めたサポートが必要とされ、多職種の連携が必要不可欠です。助産師として、母子の安全に責任を持ち、患者さんの思いに寄り添うこと、妊娠期からの継続した支援を行うことが重要だと考えます。

※1 フィジカルアセスメント：患者さんの情報を集め、総合的に分析し、患者さんに合った状態を考察すること
 ※2 ブリーフィング：患者さんの情報、治療方針を事前に多職種で共有しておくこと



マタニティ外来（妊婦健診）



看護部 産科病棟
助産師 石松 真理
いしまつ まり

福岡大学病院のアプリのご紹介

通院支援アプリ「コンシェルジュ」を導入しました



『コンシェルジュ』でできること

事前通知で予約忘れ防止

診察前日・検査前日に注意事項を通知することで患者さんの確実な受診を促します。

待ち時間を快適に過ごす

どこにいても診察状況を確認できます。順番が近づいたら通知が届くので、待ち時間を自由に過ごすことができます。

患者さん自身が診療情報を把握できる

患者さんが自分自身で診療情報を持つことで医療への意識向上を支援します。

スマートフォンで確認できます



スマートフォンでの使用方法

まず、アプリをスマートフォンにダウンロードします。ご自宅 でダウンロードしていただけますと病院内での設定がスムーズになります。



iPhone

App Store からダウンロード



Android

Google Play で手に入れよう



HOPE コンシェルジュ

検索

通院支援アプリ「コンシェルジュ」は、スマートフォンで患者さんの「診察時の待ち時間の有効活用」や「来院日のうっかり忘れを防止」するなど、来院前から帰宅後まで通院における各場面でサポートします。また、血液検査の結果や処方内容、受診歴などをアプリで確認することができます。これからオンライン診療も導入していく予定ですが、オンライン診療を行うには「コンシェルジュ」を通し

で行うこととなります。

「コンシェルジュ」を使用するには、「コンシェルジュ」アプリを



案内・受診相談カウンター

ダウンロードしていただき、中央棟正面玄関のほぼ真正面の案内・受診相談カウンター（左写真）で受付してから利用者登録を行う必要があります。



医療情報部（M&D）教授・診療部長
医師 吉田 陽一郎
よしだ よういちろう

具体的な使用法は右記のQRコードから動画を参照いただきたいと思います。院内WiFiを無料で開放しておりますので、ぜひご覧いただき「コンシェルジュ」をご活用いただきたいと思います。



福岡大学病院 公式チャンネル